

基本目標1 妊娠期・乳幼児期をすこやかに過ごすことができる

取り組み目標 (2) 子どもが安全で健康に育つことができる

- ① 親が育児の楽しさを感じる
- ② 児の障がいの有無に関わらず、育てにくさを感じた時に対処できる
- ③ よい生活習慣・食習慣を親子で作る

【現状と課題】

乳幼児期は、心と体の基礎を形成する大切な時期です。心身ともに未熟な乳幼児は、養育者の影響を多大に受けやすいため、親子が適切な育児環境の中で生活することが重要です。

3歳児健診時のアンケートにより、子どもを虐待していると思う保護者の割合が平成28年度2.6%であり、その後1～2%台を推移しています。また、育児が楽しいと感じる保護者の割合は、令和3年度に79.7%と減少したものの、それ以外では83%前後となっています。令和2年からの新型コロナウイルス感染症の流行により、さまざまな行動の制限が長引いた影響が、流行から1年を迎えた令和3年度にピークに達した可能性が考えられます。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類感染症に移行したことから、従来通りの活動や交流が再開されるため、今後は改善される可能性もありますが、保護者が楽しいと感じながら育児ができる対策が必要です。

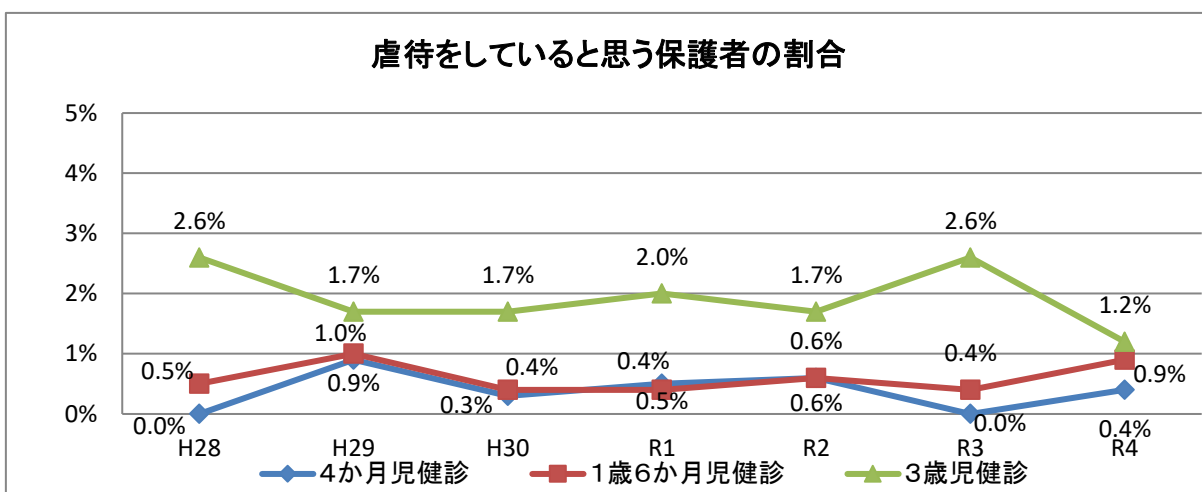
乳幼児健診時のアンケートにより、育てにくさを感じたときに対処できる保護者の割合が、令和3年度4か月児健診81.0%、1歳6か月児健診80.7%、3歳児健診79.7%となっています。親を感じる子どもの育てにくさには、子どもの心身状態や発達・発育の偏り、疾病によるもの、親の育児経験不足や知識不足によるもの、親の心身状態の不調などによるもの、親子の関係性によるもの、家庭や地域など親子を取り巻く環境、支援の不足など多面的な要素が考えられます。親を感じる育てにくさに気づき、問題点を見極め支援することが必要です。最近では、祖父母が就労や家族の介護等をしているために親が祖父母を頼りたくても頼ることのできない家庭も増えてきました。また、保育所等に所属していない子どもの保護者が相談しづらい状況にあると考えられ、対策が必要です。

「早寝・早起き・朝ごはん」、「バランスのとれた食事」、「歯磨き」、「運動習慣」等、規則正しい生活リズムを確立することが、健康な体をつくる基礎となり、将来の生活習慣病予防へとつながっていきます。3歳児健診での肥満度15%以上の児は、平成28年度4.8%で、その後は4.0%未満を維持しましたが、令和2年度から上昇しました。こちらも、新型コロナウイルス感染症の流行下で呼びかけられたステイホームによる運動不足によって肥満につながった可能性があります。また、朝食をほとんど毎日食べている児の割合は、95%前後を推移しています。学齢期に入るとますます朝食を欠食する子どもの割合が高くなることから、乳幼児期からのよい食生活習慣を身につけることが重要です。

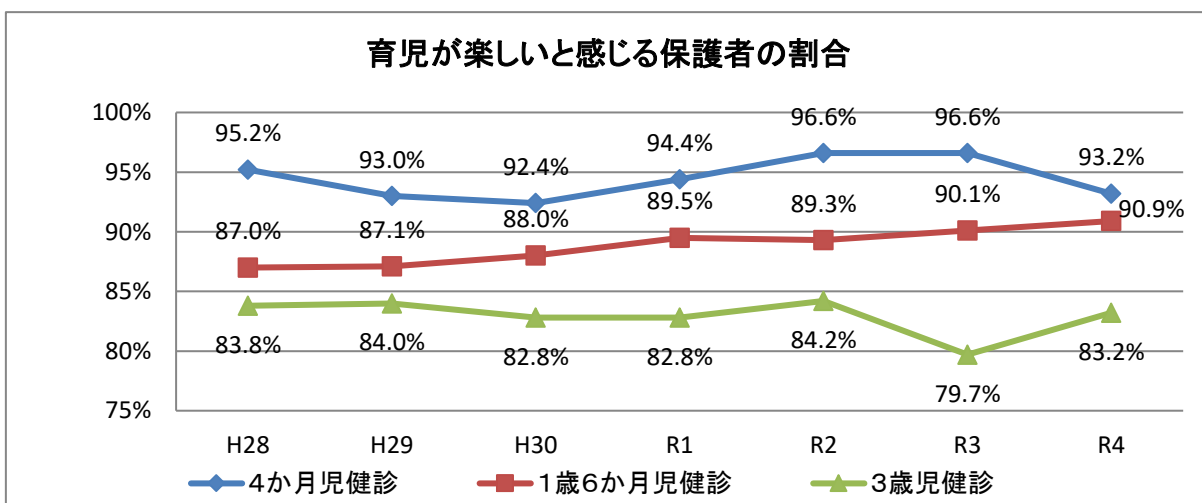
また、前沢地域でう歯のある児が多いことから、前沢をモデル地区として「さわやか歯

っぴい事業」を実施したことで、3歳児健診時にう歯のある児は減少傾向となりました。

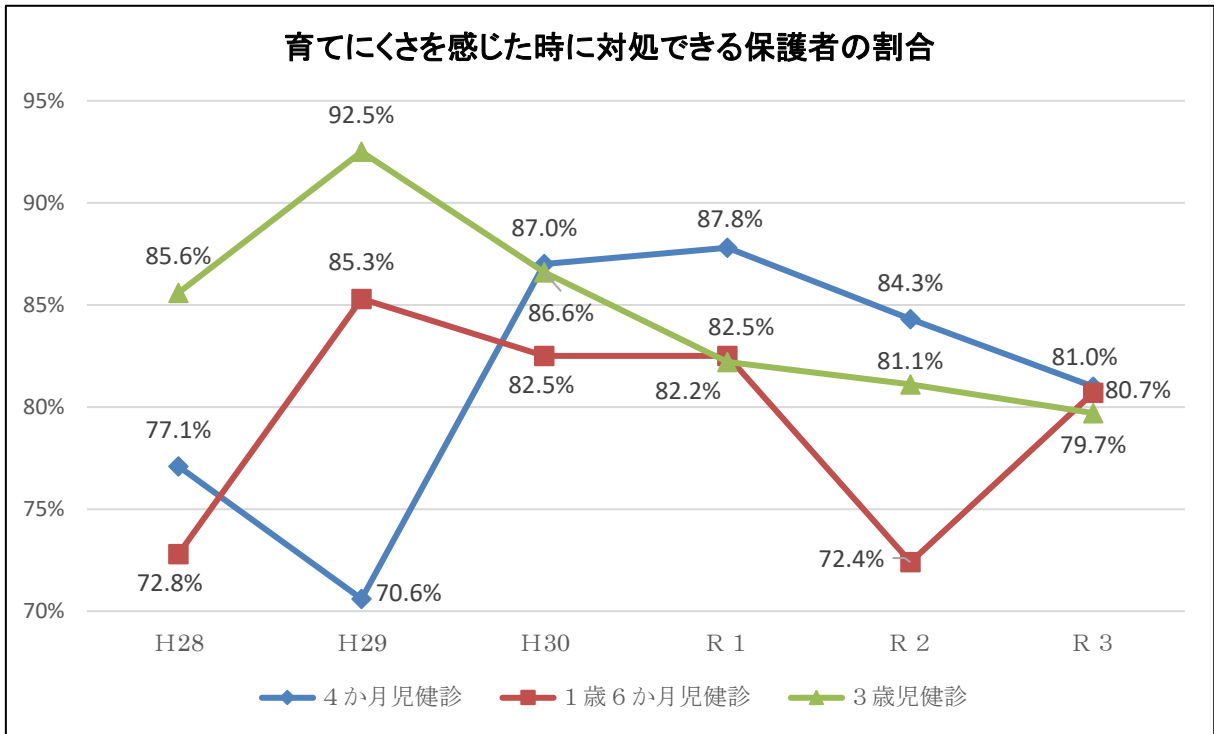
喫煙対策については、4か月児健診のアンケートから、喫煙者のいる世帯が減ってきています。しかし、喫煙者がいる家庭のうち、赤ちゃんがいる場所で喫煙する家庭の割合は平成28年度の3.8%と比較し増減はあるものの、ほぼ横ばいとなっています。誤った分煙方法を実施している家庭も散見されるため、分煙方法の周知に努めるなど、今後も0%を目指した対策の継続が必要です。



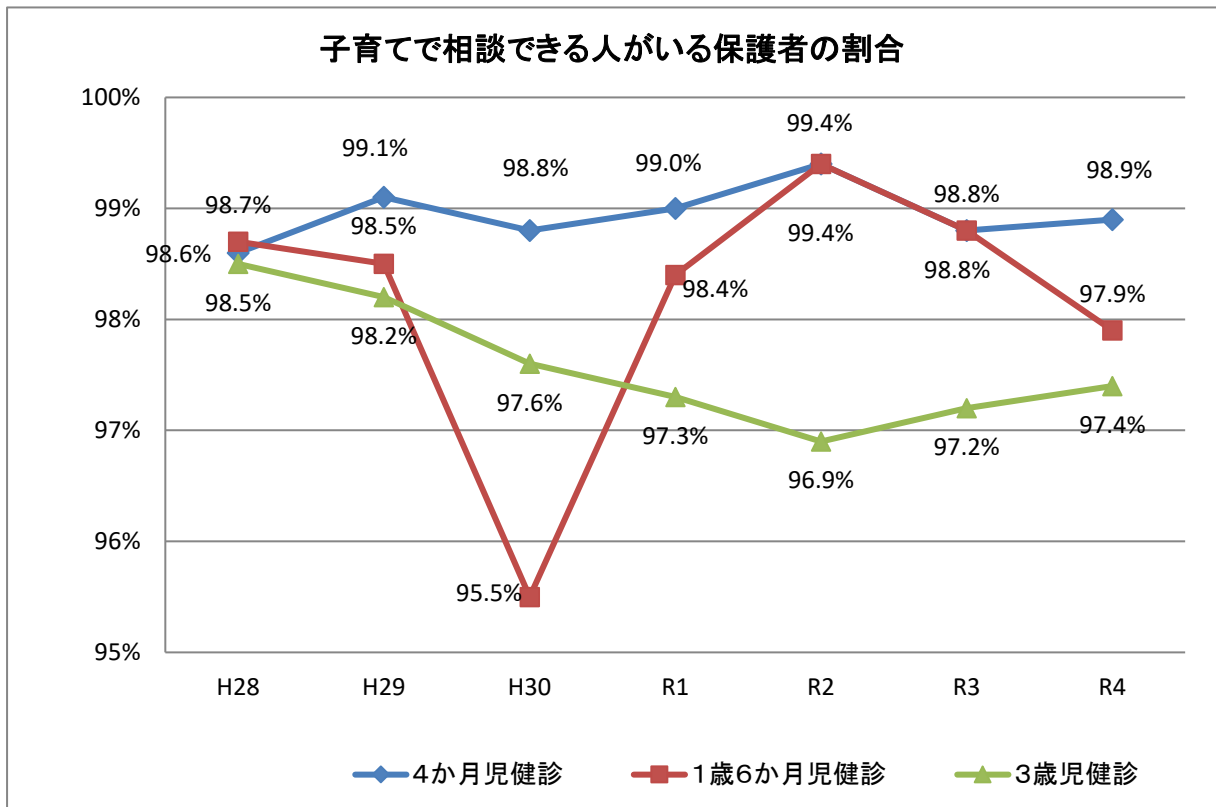
資料：奥州市保健年報



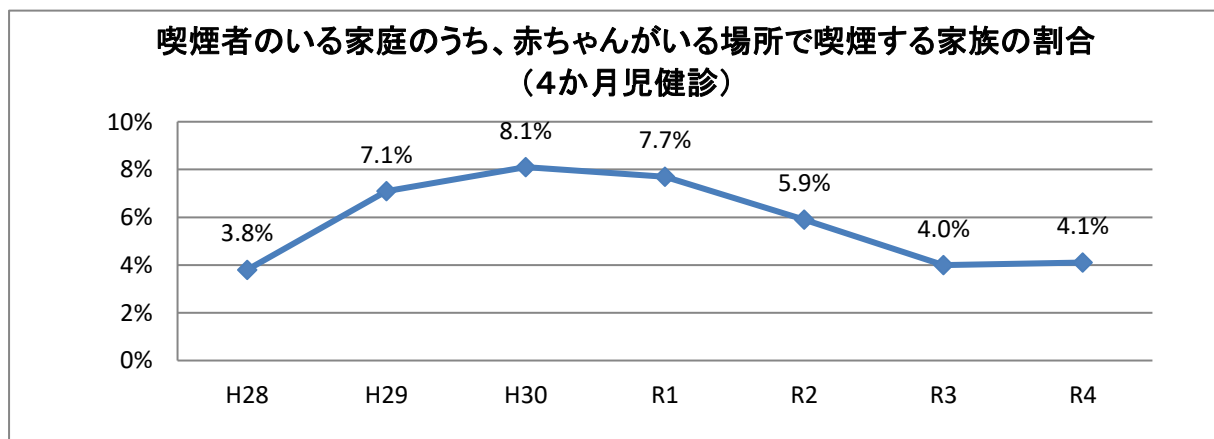
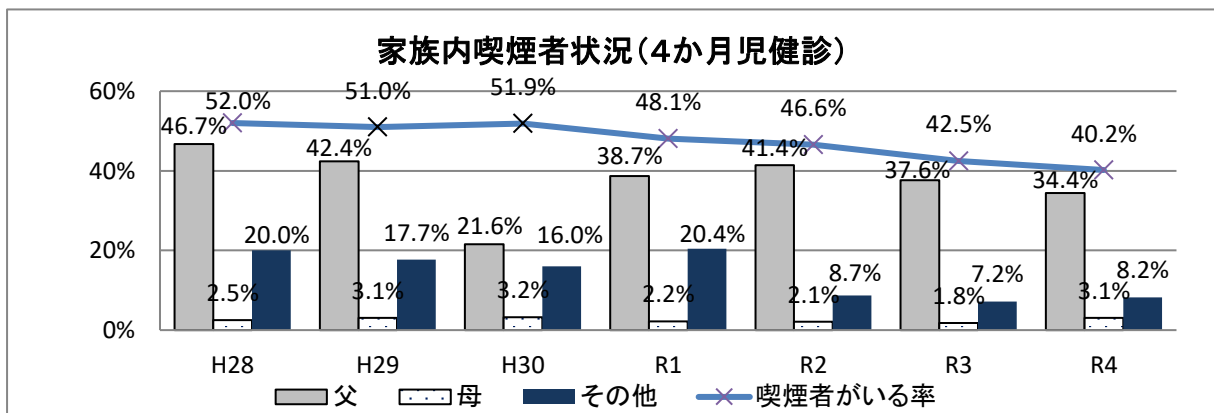
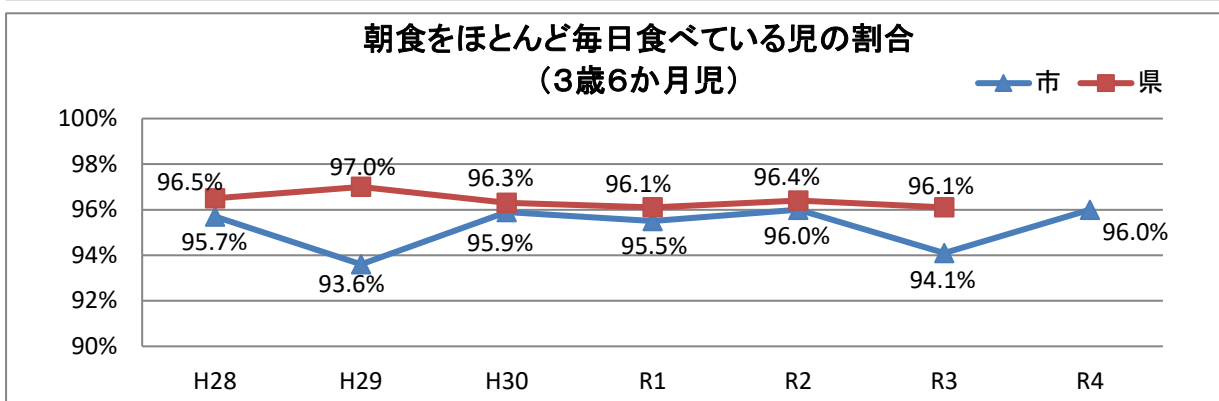
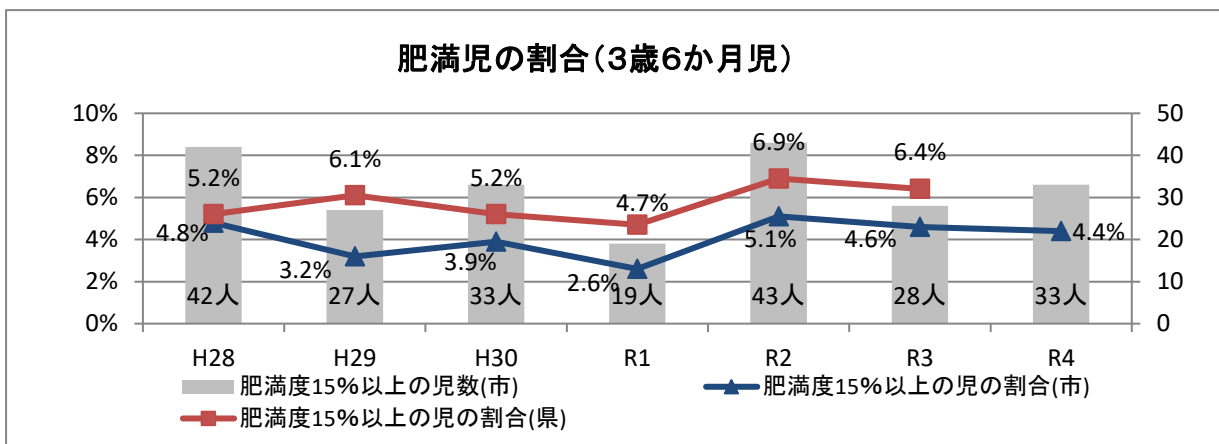
資料：奥州市保健年報



資料：乳幼児健診情報システム<岩手県版>



資料：奥州市保健年報



資料：奥州市保健年報、令和3年度乳幼児健診情報システム（岩手県版）集計結果の概要

【目指す姿】

- 育児を楽しむ親のもとで子どもが健やかに育つ
- 保護者が育てにくさを感じたときに対処でき、子育ての負担感が減る
- よい生活習慣・食習慣を身につける

【方向性】

育児が楽しいと感じる保護者の割合が、4か月児健診時では90%以上、1歳6か月児健診時では90%前後である一方で、3歳児健診時には80%程度で推移しています。3歳児では、自己主張が強くなることや、親も職場復帰して忙しくなること、さらに令和2年からは新型コロナウイルス感染症の影響で、外出が制限されたことも影響した可能性があります。令和5年から制限が緩和されたため、遊び等を通して親子のふれあいを促し、育児が楽しいと感じる保護者を増やすための対策が必要です。また、子どもの発達過程の理解を促すとともに、親が子どもの成長、発達に喜びを感じるよう取り組みを継続します。育児が楽しいと思うためには、保護者が心身ともに健康であることが必要となります。家事や仕事、育児の全てに完璧を求めすぎず、疲れた時は周囲の協力をもらい保護者がひとりの時間を確保し楽しむことで、気持ちの切り替えができリフレッシュされ、また育児を楽しむという気持ちに繋がると考えられます。さらに普段子どもとの遊びの中で、親も子ども目線で一緒に楽しめる遊びや関わりを持つことで、保護者自身も楽しむことができると思われます。乳幼児健診や随時相談の場面等で、支援者はこれらの内容を保護者へ働きかけ、頑張りすぎずリラックスして育児を楽しめるよう促していきます。妊娠期から行ってきた伴奏型支援として、子育て中の保護者が孤立しないよう、乳幼児健診や相談事業等の際に相談先の周知を図り、必要な時に支援を求められるよう促していきます。

また、育てにくさを感じる保護者に対する対策が必要です。子どもの発達過程を理解することで解決できる問題もあると思われます。既に取り組んでいる子どもの発達支援対策については継続し、関係機関と連携して発達に課題のある子どもを育てる家庭へ細やかに支援します。また、相談窓口や、子育て支援施設の情報を得られていない保護者もいることから、それらの情報の周知を行い、保護者の気持ちに寄り添った個別の相談や訪問等の支援を実施し、親子関係の樹立と愛着関係の形成を促します。

よい生活習慣・食習慣についてこれまでも取り組んでいるところですが、さらに強化する内容として、乳幼児期からよい食生活習慣を確立する対策が必要です。よい生活リズムや食習慣を身に付けられるよう、乳幼児健診での栄養指導を強化します。

乳幼児期は、自分だけの歯みがきだけでは不十分なことから、大人による仕上げみがきの大切さについて普及を継続します。

子どもが安心安全に過ごせる環境づくりとして、禁煙や分煙指導及び事故防止対策について事業を継続します。

【活動（対策）】

<p>住民が自分でできること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長を実感できる ・発達過程を理解する ・絵本の読み聞かせをするなど、ゆったりした気分で子どもと一緒に過ごす時間をもつ（奥州市家庭読書の日） ・相談できる人をもつ ・子育て支援施設の情報を得て、利用する ・子どもと一緒に楽しめる遊びや関わりを持つ ・保護者自身の心身の健康を保つ ・早寝・早起き・朝ごはんに取り組む ・仕上げみがきの継続 ・禁煙、分煙に取り組む
<p>みんなと協力してできること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども発達支援センター、療育機関との連携（園訪問、療育教室、就学に向けた支援） ・子ども向けイベントの紹介 ・こども家庭課や児童相談所等関係機関と連携した虐待予防 ・家庭や公共施設等での分煙
<p>行政や専門家が果たすべきこと</p>	<p><新規・強化事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・産後ケア ・子ども発達支援センター、療育機関との連携（園訪問、幼児教室、さくらんぼグループ、いちごグループ、就学に向けた支援） ・こども家庭課と連携した虐待予防 ・乳幼児健診時によい生活習慣・食習慣について指導 ・育児が楽しいと感じられるように、保護者自身の心身の健康保持について促す <p><継続事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談先の周知 ・新生児聴覚検査費用助成 ・乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業 ・子育て総合支援センターとの連携 ・乳幼児健康診査事業、未受診者対策 ・予防接種事業 ・絵本と出会う親子ふれあい事業、ブックスタート ・禁煙事業（禁煙・分煙指導、禁煙相談） ・乳幼児事故防止対策事業 ・離乳食教室

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科保健事業（幼児歯科健診、1歳児お誕生メール、フッ化物塗布、フッ化物洗口） ・ 健診事後フォロー教室（こどもの広場） ・ 子どもの社会性の発達過程を周知する ・ 発達相談、ことばの相談 ・ 肥満児対策（のびのび個別相談） ・ 出前健康講座 ・ 外国人育児支援事業（おしゃべりカフェ） ・ 教育保育施設との連携及び連絡会の開催 ・ 就学支援専門委員会議参加 ・ 奥州医師会、奥州歯科医師会との連携
--	---

【成果指標】

項目	データベース	対象	R4実績	目標値(R10)
朝食をほとんど毎日食べている子どもの割合	3歳児健診	3歳児	96.0%	100%
朝7時までに起床している子どもの割合	3歳児健診	3歳児	90.6%	92.0%
肥満度 15%以上の子どもの割合	3歳児健診	3歳児	4.4%	3.5%
肥満傾向の児童の割合	奥州市の学校保健 胆江の学校給食	小 学 生 男	11.4%	7.0%
		女	5.2%	4.0%
テレビ、DVDの視聴やゲーム等をする時間が1日2時間以上の子どもの割合	3歳児健診	3歳児	30.3%	25.0%
大人による仕上げ磨きの割合	幼稚園・保育園 歯科健診結果	5歳児	81.5%	85.0%
絵本の読み聞かせをしている保護者の割合	3歳児健診	3歳児の保護者	84.5%	90.0%
子どもを虐待していると思う保護者の割合	3歳児健診	3歳児の保護者	1.2%	1.0%
子育てで相談できる人がいる保護者の割合	3歳児健診	3歳児の保護者	97.4%	100%
育児が楽しいと感じる保護者の割合	3歳児健診	3歳児の保護者	83.2%	90.0%
赤ちゃんがいる場所で喫煙しない家庭の割合 (分煙している家庭/喫煙者のいる家庭)	4か月児健診	4か月児のいる家庭	95.9%	100%